

国際ガールズ・デー企画
ワタシが選ぶ自由な未来 ②

チャレンジするひと
落語家
林家つる子の
ものがたり



令和 8 年
10.4 日
13:00～15:00
(開場 12:30)

女性として初となる 12 人抜き、抜擢真打昇進を果たし、固定観念にとらわれず古典落語を新たな視点から描くその挑戦の裏側には、支えとなる師匠や母の言葉があったといいます。落語家になるまでの道のり、そして挑戦することの大切さについてお話しいただきます。

会場 葛飾区男女平等推進センター（ウィメンズパル）
多目的ホール（葛飾区立石 5-27-1）

対象 どなたでも（15 歳未満は保護者同伴）

定員 100 人（多数抽選）

受講料 無料

保育 1 歳以上未就学児のお子さん 6 人
(多数抽選)

申込〆切 9 月 17 日（木）必着
(申し込み方法は裏面をご覧ください)

「国際ガールズ・デー」とは

「女の子の権利」や「女の子のエンパワーメント※」を広く国際社会に呼びかける日です。「女の子だから」「女の子なのに」といった言葉で女の子の翼をさえぎる考えがまだまだ残る日本。女の子も男の子も、大人もみんな、この機会に人気講師のお話から未来を変える勇気をもらいましょう！

※女性が人生におけるあらゆる選択肢を自分の意思で選びとり生きていくために必要な力、男性と対等に家庭内や社会の意思決定に参画する力をつけること。

講師プロフィール



落語家 林家つる子さん

- 群馬県高崎市出身
- 中央大学文学部人文社会学科
中国言語文化専攻卒業
- ぐんま特使
- 日本舞踊坂東流名取
「坂東蝶子」

【経歴】

- 2010年 9月 九代林家正蔵に弟子入り
- 2015年 11月 ニツ目に昇進
- 2019年 9月 第11回前橋若手落語家選手権優勝
- 2021年 3月 第20回さがみはら若手落語家選手権優勝
- 2021年 11月 NHK 新人落語大賞決勝戦進出
- 2022年 9月 第33回北とぴあ若手落語家競演会奨励賞
- 2022年 10月 NHK 新人落語大賞決勝戦進出
- 2024年 3月 落語界で女性初となる抜擢真打昇進を果たす
- 2025年 11月 第42回浅草芸能大賞新人賞受賞

2010年9月九代林家正蔵に弟子入り、2024年3月 落語界で女性初となる抜擢真打昇進を果たす。

古典落語の滑稽断から人情断、新作落語にも取り組み、新しい挑戦にも意欲的で、古典落語「芝浜」や「子別れ」「紺屋高尾」の登場人物であるおかみさんや花魁を主人公にし、その視点から古典落語を描く挑戦は、NHK 総合「目撃！にっぽん」、日本テレビ「NEWS ZERO」、「文藝春秋」等、各種メディアに取り上げられた。テレビ、ラジオなど幅広く活躍。

申込方法

オンライン申請またはハガキに①～⑥をご記入のうえ、お申し込みください。

- ①「林家つる子のものがたり」
- ②氏名（フリガナ）
- ③郵便番号・住所
- ④年齢
- ⑤電話番号
- ⑥保育希望の有無



▲申し込みフォームはコチラ

保育希望の方はお子さんの
氏名（フリガナ）・年齢・性別

9月17日（木）までにお申し込みください（必着）

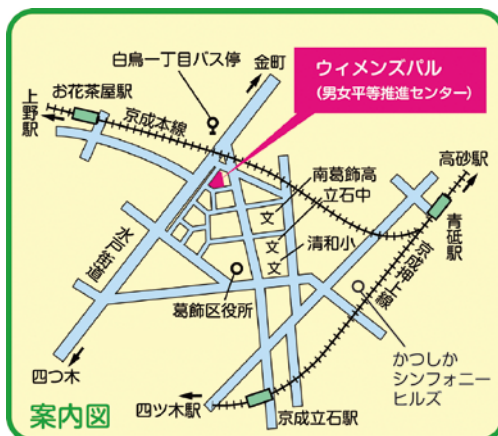
※状況により、実施内容を変更または中止
する場合があります。

申し込み・問い合わせ先

〒124-8555 葛飾区立石 5-13-1

葛飾区 教育委員会事務局 生涯学習課 区民大学係

電話 03-5654-8475



モンチャレ

©SEKIGUCHI

国際ガールズ・デー企画 ワタシが選ぶ自由な未来①

「ルッキズムってなんだろう？みんなで考える外見のこと」

この講座では、まず「ルッキズム (lookism)」とは何を問題にするための言葉なのかを確認したうえで、現代社会においてルッキズムが生じる背景や、それがもたらすさまざまな弊害について学びます。また、ルッキズムを個人の意識や努力によって解決すべき問題として捉えることの限界についても検討し、ルッキズムを社会的な問題としてどのように解消していくことができるのか、参加者のみなさんとともに考えていきます。

主催：葛飾区人権推進課
申し込み・問い合わせ先：03-5698-2211

日 時：令和8年10月3日（土）13:00～15:00
会 場：葛飾区男女平等推進センター（ウイメンズパル）
洋室A（葛飾区立石5-27-1）
講 師：西倉実季さん（早稲田大学 文学学術院教授）
対 象：どなたでも（ボーイズも大人も大歓迎）
定 員：30人（先着順）
受講料：無料
申し込み：8月17日（月）午前9時からオンライン申請か
電話にて先着順で受付
保 育：1歳以上未就学児のお子さん2人（先着順）
9月17日（木）までにお申し込みください。